

平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年1月29日

上場会社名 株式会社ジーテクト 上場取引所 東
 コード番号 5970 URL http://www.g-tekt.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 菊池 俊嗣
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 吉沢 勲 (TEL) 048-646-3400
 四半期報告書提出予定日 平成28年2月5日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	163,418	16.7	8,833	27.1	7,597	10.9	4,767	12.9
27年3月期第3四半期	139,977	6.4	6,949	△29.7	6,848	△31.5	4,222	△31.5

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 △289百万円(△102.9%) 27年3月期第3四半期 10,073百万円(△36.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	108.99	—
27年3月期第3四半期	96.22	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第3四半期	217,768	113,908	47.1
27年3月期	227,690	116,044	46.0

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 102,612百万円 27年3月期 104,701百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	11.00	—	13.00	24.00
28年3月期	—	15.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	212,000	9.4	11,400	18.2	10,400	15.8	6,200	33.3	141.27

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 1社(社名) G-TEKT MEXICO CORP.、除外 1社(社名) —
S. A. DE C. V.

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年3月期3Q	43,931,260株	27年3月期	43,931,260株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

28年3月期3Q	307,002株	27年3月期	44,662株
----------	----------	--------	---------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期3Q	43,747,250株	27年3月期3Q	43,886,757株
----------	-------------	----------	-------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

<u>目 次</u>		頁
1.	当四半期決算に関する定性的情報	2
	(1) 経営成績に関する説明	2
	(2) 財政状態に関する説明	3
	(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2.	サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
	(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
	(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
	(3) 会計方針の変更・会計上の見積もりの変更・修正再表示	4
3.	四半期連結財務諸表	5
	(1) 四半期連結貸借対照表	5
	(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
	(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
	(継続企業の前提に関する注記)	9
	(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
	(セグメント情報等)	10
	(重要な後発事象)	11
4.	その他	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における国内の経済情勢は、アベノミクス効果の一巡などから景気が停滞気味となりました。

海外においては、米国FRBが9年半ぶりに政策金利の引き上げを決定するなど、米国経済が堅調に回復し続けているほか、欧州経済の改善が徐々に広がっており、先進国経済には底堅い動きが認められる一方で、中国経済の減速が依然続いているほか、ブラジル、ロシアなどの新興国経済は総じて悪化しており、原油価格の急落も相まって、全体として景気が停滞しています。

自動車業界におきましては、国内は、景気の足踏みや軽自動車増税等により、販売が低迷したことから、生産台数が減少しました。海外では、北米で好調な市場環境が続いていますが、東南アジアは回復が遅れる懸念が強まっており、中国でも需要の減速が目立っています。

このような経営環境の中、当社グループでは、開発・提案力を更に強化し、よりタイムリーかつフレキシブルに世界各地のお客様の多様なニーズに対応できる物造り体質の実現に取り組むとともに、受注変動に柔軟に対応する生産・技術領域の体質改善に取り組み、全社的原価低減を目指しています。

当第3四半期連結累計期間の業績については、国内・中国の減産等の影響があったものの、北米・アジアの増産が売上を牽引し、売上高は163,418百万円（前年同期比16.7%増）、営業利益は8,833百万円（前年同期比27.1%増）、経常利益は7,597百万円（前年同期比10.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は4,767百万円（前年同期比12.9%増）となりました。

報告セグメントごとの業績は次のとおりであります。

①日本

売上高は、主要得意先の減産による量産売上の減少があったものの、型設備等の非量産売上の増加等が寄与して、40,312百万円（前年同期比1.7%増）となりました。セグメント利益（営業利益）は、減価償却費の増加があったものの、生産・技術領域での原価低減活動を強力に行った結果、1,787百万円（前年同期比46.6%増）となりました。

②北米

売上高は、得意先の増産による量産売上の増加や新機種立ち上げによる型設備売上の増加に加え、為替影響により、64,078百万円（前年同期比31.2%増）となりました。セグメント利益（営業利益）は、増収効果等により、2,565百万円（前年同期比28.2%増）となりました。

③欧州

売上高は、量産売上及び型設備売上の増加に加え、為替影響により、9,003百万円（前年同期比17.8%増）となりました。セグメント利益（営業利益）は、労務費及び製造経費の増加等があったものの、増収効果により、954百万円（前年同期比17.8%増）となりました。

④アジア

売上高は、主力市場であるタイでの生産が回復基調にあり、28,920百万円（前年同期比31.2%増）となりました。セグメント利益（営業利益）は、増収効果に加え、昨年度からのタイでの原価低減の取組み等により、2,764百万円（前年同期比114.9%増）となりました。

⑤中国

売上高は、機種構成の変動があったものの、為替影響により、24,084百万円（前年同期比5.7%増）となりました。セグメント利益（営業利益）は、機種構成の変動や、減価償却費の増加により、612百万円（前年同期比46.3%減）となりました。

⑥南米

売上高は、型設備売上の減少等により、7,493百万円（前年同期比19.6%減）となりました。セグメント利益（営業利益）は、労務費及び製造経費の増加等により、332百万円（前年同期比38.6%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末より9,922百万円減少し、217,768百万円となりました。これは主に、売掛金の減少によるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末より7,786百万円減少し、103,859百万円となりました。これは主に、短期借入金の減少によるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末より2,136百万円減少し、113,908百万円となりました。これは主に、為替換算調整勘定の減少によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

新規に立ち上げた海外拠点の業績が向上したことと、法人税等負担率の見直しを行ったことにより、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益が当初予想を上回る見込みであり、通期の業績予想を修正いたしました。

詳細につきましては、本日（平成28年1月29日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第1四半期連結会計期間より、重要性が増したG-TEKT MEXICO CORP S.A. DE C.V.を連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)及び
「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)
等を、第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額
を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更い
たしました。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定
による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方
法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更
を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、
四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び
事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点
から将来にわたって適用しております。

なお、当第3四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,696	13,872
受取手形及び売掛金	33,588	25,343
製品	920	1,130
仕掛品	21,034	18,821
原材料	2,568	2,418
貯蔵品	774	778
その他	5,525	6,164
流動資産合計	76,108	68,528
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	49,016	50,107
機械装置及び運搬具(純額)	41,301	38,602
工具、器具及び備品(純額)	25,455	19,422
土地	11,759	11,687
建設仮勘定	11,619	17,020
有形固定資産合計	139,152	136,840
無形固定資産	2,118	2,160
投資その他の資産		
投資有価証券	8,486	8,302
その他	1,824	1,936
投資その他の資産合計	10,311	10,238
固定資産合計	151,581	149,240
資産合計	227,690	217,768
負債の部		
流動負債		
買掛金	20,974	18,490
短期借入金	27,354	21,868
1年内返済予定の長期借入金	11,678	12,175
未払金	8,110	7,082
未払法人税等	450	692
賞与引当金	1,021	1,113
その他	5,988	5,628
流動負債合計	75,578	67,050
固定負債		
長期借入金	27,905	29,620
退職給付に係る負債	1,123	1,035
役員株式給付引当金	—	67
その他	7,037	6,085
固定負債合計	36,066	36,809
負債合計	111,645	103,859

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,656	4,656
資本剰余金	23,657	23,657
利益剰余金	53,941	57,466
自己株式	△21	△370
株主資本合計	82,234	85,409
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,504	2,735
繰延ヘッジ損益	△39	3
為替換算調整勘定	19,960	14,390
退職給付に係る調整累計額	40	73
その他の包括利益累計額合計	22,466	17,203
非支配株主持分	11,343	11,295
純資産合計	116,044	113,908
負債純資産合計	227,690	217,768

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	139,977	163,418
売上原価	124,777	145,259
売上総利益	15,199	18,158
販売費及び一般管理費	8,249	9,325
営業利益	6,949	8,833
営業外収益		
受取利息	230	92
受取配当金	106	120
為替差益	327	—
その他	336	269
営業外収益合計	1,001	483
営業外費用		
支払利息	671	895
為替差損	—	531
持分法による投資損失	399	267
その他	31	24
営業外費用合計	1,102	1,719
経常利益	6,848	7,597
特別利益		
固定資産売却益	23	80
投資有価証券売却益	—	116
特別利益合計	23	197
特別損失		
固定資産売却損	8	4
特別損失合計	8	4
税金等調整前四半期純利益	6,863	7,790
法人税等	2,057	2,125
四半期純利益	4,805	5,664
非支配株主に帰属する四半期純利益	582	896
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,222	4,767

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
四半期純利益	4,805	5,664
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	361	231
繰延ヘッジ損益	△53	42
為替換算調整勘定	4,938	△6,218
退職給付に係る調整額	28	33
持分法適用会社に対する持分相当額	△6	△41
その他の包括利益合計	5,267	△5,953
四半期包括利益	10,073	△289
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	8,442	△495
非支配株主に係る四半期包括利益	1,631	206

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第3四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						合計
	日本	北米	欧州	アジア	中国	南米	
売上高							
外部顧客への売上高	30,275	48,188	7,635	21,951	22,604	9,322	139,977
セグメント間の内部売上高 又は振替高	9,380	644	4	84	188	2	10,304
計	39,655	48,832	7,640	22,035	22,793	9,324	150,281
セグメント利益	1,219	2,000	810	1,286	1,142	540	6,999

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	6,999
セグメント間取引消去等	12
のれんの償却額	△62
四半期連結損益計算書の営業利益	6,949

3. 報告セグメントごとの固定資産の減耗損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						合計
	日本	北米	欧州	アジア	中国	南米	
売上高							
外部顧客への売上高	31,777	63,321	8,961	28,450	23,420	7,487	163,418
セグメント間の内部売上高 又は振替高	8,535	757	41	470	664	5	10,474
計	40,312	64,078	9,003	28,920	24,084	7,493	173,892
セグメント利益	1,787	2,565	954	2,764	612	332	9,016

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	9,016
セグメント間取引消去等	△111
のれんの償却額	△72
四半期連結損益計算書の営業利益	8,833

3. 報告セグメントごとの固定資産の減耗損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

4. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間において、重要性の増したG-TEKT MEXICO CORP S.A. DE C.V.を連結の範囲に含め、新たに「北米」セグメントに加えております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. その他

(1) 役員の変動

① 代表取締役の変動

代表取締役会長 菊池 俊嗣(現 代表取締役社長 社長執行役員)

代表取締役社長 社長執行役員 高尾 直宏(現 取締役 副社長執行役員)

② 就任予定日

平成28年4月1日

(2) その他

該当事項はありません。